

株式会社テレビ東京 第 42 回定時株主総会の概要

1. 開催日時
2010年6月25日(金) 10:00
2. 場所
ホテルオークラ東京
3. 所要時間
1時間41分
4. 出席株主数など

出席	株主数	376名	(代理出席含む)
	議決権個数	143,758個	
書面	株主数	1,429名	
	議決権個数	43,911個	
合計	株主数	1,805名	
	議決権個数	187,669個	

出席議決権の割合	90.91%	
総議決権個数	206,414個	2010/3/31 現在
総株主数	5,658名	2010/3/31 現在

5. 議案について
5つの議案が全て承認可決されました。
第1号議案 剰余金処分の件
第2号議案 共同株式移転による完全親会社設立の件
第3号議案 取締役13名選任の件
第4号議案 補欠監査役1名選任の件
第5号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈及び役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給の件

質疑応答の概要について

Q1. 視聴率が低下している。ゴールデンタイムの週平均視聴率が6%を割っているようだが、その対策は。

『ポチたま』、『田舎に泊まろう！』を終了させ、『もやもやさま〜ず 2』、『ピラメキーン G』を新たに編成、新しい時代に対応するための編成方針に転換しました。編成・制作部門を中心により魅力的な番組の開発を図っています。

Q2. 菅谷氏、島田氏の役員報酬の金額は。

回答はご容赦願います。個別の役員報酬は1億円を超えておりません。役員報酬の総額については法令に従って事業報告に記載しております。

Q3. 株主優待の抽選に一度も当たったことがない。色々な会社の株を持っているが抽選で一度も当たらない会社はない。制度の見直し、歌謡ショーにもっと招待するなど、努力姿勢が必要。株主として保証されたインセンティブが欲しい。

株主優待についてはクオカードを復活し、全員に配布しました。『夏祭りにつぼんの歌』、『恐竜展』、『柔道グランドスラム』など多くの方に行き渡るよう工夫してきました。抽選の倍率が高く、当選しにくくご迷惑をおかけいたします。

Q4. 面白い番組がいっぱいあるのに他局を見る人に伝わっていない。テレビ東京のアナウンサーがテレビ雑誌の宣伝で他局のCMに出たのを見た。このような方法で、テレビ東京をアピールし、積極的な対策を打つことができないのか。

個性的な番組があると自負しているが、そのパワーを上げたいと思っています。宣伝に力を入れて視聴率アップを狙っていきます。他局へのアナウンサーの出演についてはチャンスがあればトライしたいと思います。他局の番組とのコラボレーションにもいくつか挑戦しています。提案に感謝します。

Q5. 『田舎に泊まろう！』が終了して、さみしい。笑い・感動があった。後に始まった『もやもやさま〜ず2』との落差が大きく戸惑っている。笑い・感動を与える番組を編成していただきたい。

田舎の隅々まで番組が認識されるようになってきて、感動や新鮮味が失われ、視聴率が低迷してきました。復活を望む声はいただいています。秋に特番を企画していますので是非ご覧ください。

Q6. 広告収入減収は仕方がない。新たな成長分野において、株主を安心させる戦略を聞かせて欲しい。

個別の事業としては、GYAO への出資、YouTube での公式チャンネルを開設するなど挑戦しています。

成長戦略のひとつが、本総会に提案した経営統合です。視聴環境、広告主のニーズの変化に対応するには3社(テレビ東京、BS ジャパン、テレビ東京ブロードバンド)が対等の立場で協力し合って、視聴者のみなさまにコンテンツをお届けする体制を構築する必要があると考えます。グループ内の資源を適正配分して、成長を目指します。ご理解ください。

Q7. 菅谷氏が代表取締役をやめる理由は。

若い世代に引き継ぐことが目的です。自分で決心しました。

Q8. 広告収入の低下は市況の影響だが、視聴率の低下は視聴者のニーズをつかめていないことが原因。役員の高齢化、日経出身が多いためではないか。

順次若返りを図っています。一方で、当社の事業は取締役としては様々な経験を必要とします。新しい世代の意見を組み入れられる形態にしていきたいと思っています。日経グループとの連携を深めながら特色ある放送局になることをめざしており、日経出身が多すぎるとは思いません。

Q9. 女性アナウンサーの衣装が気になる。きちんとした服装を要望する。

参考になります。番組ごとに衣装について検討いたします。

Q10. 記者会見に関するスタンスを聞かせてほしい。(政治家などの)小さな発言が大きく報道される傾向にある。政局を動かしているのはマスコミであるような気がする。

ニュース価値があるものを流したいと考えています。発言の一部の使い方が誇大に伝わる結果となったのであれば、手法が稚拙なのかもしれません。取材では、様々な質問をするべきと考え、切り取った発言について報道価値があるものは放送していきます。ご意見は参考になりますので、報道局と研究していきます。

Q11. 損益計算書に、ゴルフ会員権売却損、評価損があった。ゴルフ会員権をどのように使っているのか。

営業活動のためのゴルフ会員権です。相場が下がっており損を計上しています。ご理解いただきたいと思います。

Q12. 株主総会以外意見を吸い上げる制度はあるのか。

編成・制作上の意見集約のために、一般視聴者とプロデューサー・ディレクターの「モニター会議」を定期的に行っている。視聴者からのご意見は毎日届いているものを確認しています。ドキュメンタリーを放送した場合など、広告主に意見が集まる場合もあります。編成が番組にフィードバックし、営業が広告主にフィードバックし、以降の番組づくりに生かしていく仕組みをつくっています。

Q13. 目標株価の設定はしているのか。無いなら設定すべき。株価に連動した報酬のしくみをつくれぬのか。

株価はマーケットの様々な要因で決定されるものであり、会社が目標を決定するものとは考えていません。売上高営業利益率5%を経営の数値目標としています。

株価連動型の報酬にするべきとの意見については、当面、年間報酬の2ヶ月分を、役員持株会に拠出させて、連動する形をとっていきます。

以上

<この件に関するお問い合わせ>

株式会社テレビ東京

広報局 広報・IR部 ☎03-5473-3041